

単  
元  
名

## ポーズのひみつ

教科書出版社名 ( 日本文教出版 )

○ 小学校 ( 4 ) 年 教科等 ( 図画工作 )

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等でつけたい力)

- ・作品のポーズや表情に着目することを通して、自ら感じたり考えたりして作品を味わう力。
- ・友だちの見方を知ることによって自分の見方や感じ方を広げる力。

(学校図書館等の活用でつけたい力)

様々な美術作品を見て、どのような場面かを想像し、表現する力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…様々な美術作品の中から、表現したい作品を見つける。
- 整理・分析…美術作品の面白さ、表したいことなどを考える。
- まとめ・表現・発信…自ら感じたり、考えたりしたことを表現する。

○ 学習の展開 (全4時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)

第1次	1 時	○☆様々な美術作品のポーズに着目して鑑賞する。 ・日本や西洋の画家の作品を鑑賞し、表情、色使い、構図などから気づいたこと、感じたことを交流する。
第2次	2 ・ 3 時	○☆美術作品のポーズに着目して鑑賞し、感じたことや考えたことを付箋に書き込んで作品に貼り、体で表現する。(本時) ・ポーズや表情などに着目しながらポーズで表現し、作中の人物の心情や背景を想像する。 ・自分自身で表現してみて気づいたことを書き込む。 ・グループでポーズを見合い、感想を交流し合う。 ○☆自分が感じたことの中で最も表現したいものを絞り、再現する。 ・ポーズや表情に現れるように表現する。 ・表現した姿を写真に撮る。

<b>第3次</b>	4時	○4年1組美術展を開こう。 ・表現した写真を鑑賞する。 ・鑑賞して気づいたことを伝え合う。
------------	----	---

**(本時 2 / 4時)**

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい ・作品のポーズや表情に着目し、感じたことや考えたことを書く。 ・自分が感じたことが友だちに伝わるようにポーズを再現し、交流する。
---

**学習展開**

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
3	<b>1. 選んだ作品を確認する。</b>  <b>2. 本時のめあてを確認する。</b>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           ポーズに注目して、作品をよく見てみよう。         </div>	
17	<b>3. 作品をよく見て、感じたことや考えたことを付箋に書いて、作品のコピーに貼り、体で再現してみる。</b>   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポーズや表情から想像する。</li> <li>・作品の人物の考えていることなどを想像しながら感じたことを書き込む。</li> <li>・注目した人物の心情を台詞にして書き込む。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           ・選んだ作品をコピーし、各自で作業できるようにする。         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           ・作品の解説を参考にしてもよいことを伝える。         </div>
20	<b>4. グループでポーズを見せ合い、交流する。</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が表現したい思いが伝わったかどうか確認をする。</li> <li>・より伝わりやすくするための工夫をアドバイスする。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自がポーズから感じ取った思いに間違いがないことを確認する</li> <li>・伝えたい思いをより伝わりやすくなるアドバイスを行うことを確認する。</li> </ul>
5	<b>5. 学習の振り返りをする。</b>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことや考えたことをもとに写真にとることを伝える。</li> </ul>

図書館活用  
ポイント

図書館活用  
ポイント